

「続・キズナプロジェクト 2019」開催しました。

東日本大震災の翌年に、『キズナプロジェクト』として 10 名がアメリカ訪問の機会をいただいたことをきっかけに、語学研究部では『続・キズナプロジェクト』として外国の方に多賀城を知ってもらう活動をしています。毎年、多賀城市国際交流協会の協力も得て、数ヶ月前から部員が企画・準備を行います。今年は、仙台育英学園高等学校の留学生 6 名と交流をすることができました。

①まち歩き

多賀城イオン→津波波高標識→末の松山→沖の井→砂押川→多賀城駅

②料理交流

のり巻き、味噌汁、和風デザート

③文化交流

防災アクションカードゲーム、クイズ（防災・日本文化・当日の活動に関するもの）
折り紙、茶道

【生徒の感想】

仙台育英学園の留学生の皆さんと「まち歩き」や「料理」等を通して、楽しく有意義な活動をすることができました。多賀城の都市型津波について被災した場所を実際に留学生の皆さんと、まちを歩き震災時の状況などを共有しながら災害への関心を高めることができました。その後、昼食にのり巻きや味噌汁などを一緒に作りました。私は料理担当でしたので、英語で留学生の皆さんに説明しながら、楽しく交流することができました。また、災害クイズや茶道、折り紙と一緒に体験し、日本の文化なども知ってもらえたかと思えます。この活動を通して、日本の災害について英語で発信していくこと、異国文化についてお互いが理解し尊重し合える関係を持つことの大切さを学びました。この機会に、もっと積極的に外国の方と交流できる場に参加していきたいと思えます。

【まちあるきの様子】



【料理交流の様子】



【文化交流の様子】



【多賀城市国際交流協会の皆さんと】

